

2021年3月期 決算説明会資料

2021年5月14日発表
アルフレッサ ホールディングス株式会社

独占禁止法違反容疑の経緯と ガバナンス強化策について

独占禁止法違反容疑の経緯について

2019年11月

公正取引委員会がアルフレッサ(株)に立入検査

2020年5月

(当社発表)ガバナンス強化策の発表

◆ ガバナンス強化策 (*次ページ)

2020年10月

東京地方検察庁/公正取引委員会による捜索

2020年12月

公正取引委員会による刑事告発

2020年12月

東京地方検察庁による起訴

2020年12月

(当社発表)独禁法違反容疑に関する再発防止策等と役員報酬自主返上の発表◆ 再発防止策
◆ 役員報酬返上

2021年2月

(第3四半期決算)独禁法関連の課徴金・罰金等を見積り計上

◆ 独禁法関連損失引当金繰入額(4,567百万円)

ガバナンス強化策について

◆ アルフレッサホールディングス

経営体制の刷新

役員人事・報酬等
委員会の機能強化

コンプライアンス・
リスクマネジメント
会議の分科会(医療用
医薬品)の設置・開催

◆ アルフレッサグループ各社(医療用医薬品等卸売事業)

経営トップの
コミットメント強化

営業担当者向け
「行動指針」作成

コンプライアンス
専門部署・独占禁止法
専用相談窓口の設置

独禁法に関する
社内教育・研修
の強化

内部監査部門による
モニタリング

2021年3月期 決算概要



連結損益計算書

(百万円、%)	2020年3月期		2021年3月期		増減		予想比*
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	前年比	
売上高	2,698,511	—	2,603,169	—	△95,341	96.5	98.9
売上総利益	207,122	7.68	175,536	6.74	△31,585	84.8	97.0
販管費	159,476	5.91	154,864	5.95	△4,611	97.1	96.7
営業利益	47,645	1.77	20,672	0.79	△26,973	43.4	98.9
経常利益	57,170	2.12	31,918	1.23	△25,251	55.8	102.0
親会社株主に帰属 する当期純利益	40,273	1.49	24,501	0.94	△15,772	60.8	125.0

投資有価証券売却益(特別利益)108億円、独占禁止法関連損失引当金繰入額(特別損失)45億円

ROE : 5.1% 年間配当金 (21年3月期) : 53円

*2020年8月修正予想比

連結貸借対照表

(百万円、%)	2020年3月末	比率	2021年3月末	比率	増減額
流動資産	1,034,411	76.5	992,480	75.4	△41,931
現金・預金・有価証券	210,557	15.6	170,336	12.9	△40,221
受取手形・売掛金	595,353	44.0	592,321	45.0	△3,031
たな卸資産	148,940	11.0	148,049	11.2	△891
固定資産	317,207	23.5	324,177	24.6	6,969
有形・無形固定資産	169,800	12.6	176,380	13.4	6,580
投資その他資産	147,407	10.9	147,797	11.2	389
うち投資有価証券	128,559	9.5	127,657	9.7	△901
資産合計	1,351,619	100.0	1,316,658	100.0	△34,961
流動負債	836,978	61.9	783,929	59.5	△53,049
支払手形・買掛金	798,748	59.1	753,857	57.3	△44,890
固定負債	39,742	2.9	42,711	3.2	3,028
純資産	474,898	35.1	489,957	37.2	15,059
非支配株主持分	1,196	0.1	221	0.0	△975
負債・純資産合計	1,351,619	100.0	1,316,658	100.0	△34,961

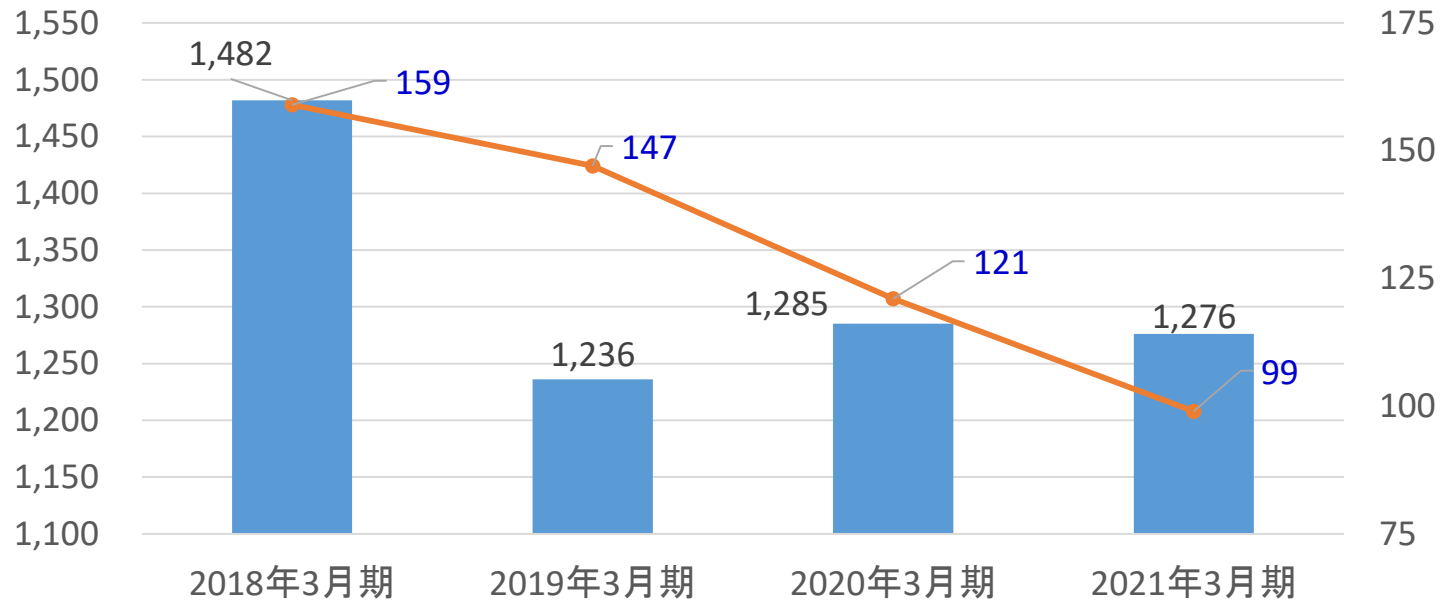
連結キャッシュ・フロー

(百万円)	2020年3月期	2021年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,828	△21,191
（うち売上債権・たな卸資産・仕入債務増減）	△16,208	△39,574
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,024	△4,732
（うち固定資産取得）	△20,577	△18,211
（うち投資有価証券取得）	△2,260	△2,236
（うち投資有価証券売却）	3,353	14,687
フリーキャッシュ・フロー	16,803	△25,924
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,617	△14,472
（うち配当金支払）	△10,372	△10,795
キャッシュ増減額（△は減少）	4,176	△40,391
キャッシュ期末残高	209,264	169,060

投資有価証券の状況

投資有価証券(億円)

政策保有株式(銘柄数)



■ 投資有価証券(億円)*	1,482	1,236	1,285	1,276
投資有価証券の売却額(億円)**	18	85	33	146
■ 政策保有株式(保有分/銘柄数)	159	147	121	99
政策保有株式(売却分/銘柄数)***	△12	△16	△33	△27

*貸借対照表ベース、**キャッシュフローベース ***一部売却分も含む

医療用医薬品等卸売事業

- 新型コロナウイルス感染拡大に伴う医療機関における外来受診抑制、入院患者の減少、手術件数の減少等により減収。一方、メディカル品は堅調(+2.9%)
 - お得意様を取り巻く経営環境悪化に伴う価格競争激化により減益
- (参考) 医療用医薬品：市場成長*△4.0% 当社△4.6% 当社市場シェア**：24.0%

(百万円、%)	2020年3月期		2021年3月期		増減		予想比***
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	前年比	
売上高	2,375,539	-	2,290,624	-	△84,914	96.4	98.7
売上総利益	154,452	6.50	127,224	5.55	△27,228	82.4	97.8
販管費	112,742	4.75	108,915	4.75	△3,827	96.6	96.3
営業利益	41,709	1.76	18,308	0.80	△23,401	43.9	107.7

*クレコンリサーチ&コンサルティング

**社内資料

***2020年8月修正予想比

売上構成比・妥結率

【カテゴリー別売上構成比】

(%)	2020年3月期		2021年3月期	
	構成比	前年比	構成比	前年比
新薬創出加算品	33.4%	111.8%	26.7%	104.9%
特許品・その他	38.1%	105.5%	44.5%	101.3%
長期収載品	16.8%	78.3%	16.2%	70.3%
後発医薬品	11.6%	107.5%	12.6%	104.7%

【妥結率】 金額ベース

2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
96.5%	99.6%	99.7%

セルフメディケーション卸売事業

- 健康食品・日用品の売上増加の一方、インバウンド需要等の減少により減収
- 減収のほか、システム関連費用および合併費用の増加等に伴い減益
- 引き続き利益管理の徹底と専売メーカー・専売商品の拡充、新チャネル開拓に取り組む
- 2021年4月、アルフレッサヘルスケア(株)と(株)茂木薬品商会在経営統合

(百万円、%)	2020年3月期		2021年3月期		増減		予想比*
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	前年比	
売上高	268,944	-	261,624	-	△7,319	97.3	101.1
売上総利益	26,555	9.87	25,886	9.89	△668	97.5	101.1
販管費	23,668	8.80	23,485	8.98	△183	99.2	100.8
営業利益	2,886	1.07	2,401	0.92	△485	83.2	104.4

*2020年8月修正予想比

医薬品等製造事業

- 新型コロナウイルス感染拡大に伴う医療機関における外来受診抑制、手術件数の減少や営業活動自粛、またインフルエンザ診断キットの販売不振等により減収、営業損失

(百万円、%)	2020年3月期		2021年3月期		増減		予想比*
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	前年比	
売上高	45,949	—	42,595	—	△3,353	92.7	89.3
売上総利益	13,282	28.91	10,282	24.14	△2,999	77.4	81.0
販管費	10,932	23.79	10,427	24.48	△505	95.4	92.3
営業利益	2,349	5.11	△ 144	△ 0.34	△2,494	—	—

*2020年8月修正予想比

医療関連事業

- 調剤薬局店舗数：157店舗（2021年3月末） 前年同期比△12店舗
- 新型コロナウイルス感染拡大に伴う医療機関における外来受診抑制等の影響により減収、営業損失
- 2021年4月、経営統合によりアポクリート(株)発足。調剤事業の経営基盤強化と効率化を図る

(百万円、%)	2020年3月期		2021年3月期		増減		予想比*
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	前年比	
売上高	35,638	-	33,300	-	△2,377	93.4	98.5
売上総利益	12,931	36.29	12,081	36.28	△850	93.4	99.0
販管費	12,503	35.08	12,450	37.39	△52	99.6	100.4
営業利益	428	1.20	△ 369	△ 1.11	△797	-	-

*2020年8月修正予想比

(参考)2020年3月末店舗数
169店

増加
+7店

減少
△19店

増減
△12店

2021年3月末店舗数
157店

19-21 中期経営計画 取り組み状況



19-21中計期間の主な取り組み

<p>医療用医薬品等 卸売事業</p>	<p>MS機能のさらなる「進化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案営業の強化 ・エリア戦略の実践 ・地域包括ケアシステムへの取り組み ・メディカル品への注力 <p>スペシャリティ商品への注力</p> <p>グループ物流の「高度化」「効率化」と「標準化」</p>
<p>セルフメディケーション 卸売事業</p>	<p>安定的かつ持続的な事業基盤の確立</p> <p>消費者視点に立った商品提案</p> <p>専売メーカー・専売商品の取り組み強化</p> <p>将来に向けた投資</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規顧客の創造・新規チャネルへの挑戦 ・次世代サプライチェーンの創造 ・取扱品目の拡大に向けた取り組み（日用雑貨・ビューティ） <p>各事業セグメントとの連携強化</p>
<p>医薬品等製造事業</p>	<p>安心・安全・誠実なモノづくりの推進</p> <p>グループニーズに沿った製品の拡充</p> <p>製造受託・医薬品原薬事業の拡大</p> <p>海外事業の拡充</p>
<p>医療関連事業</p>	<p>機能に応じた店舗の再編</p> <p>収益改善を目指した効率化・高度化</p> <p>多機能化による地域社会への貢献</p> <p>各事業セグメントとの連携強化</p>
<p>ESG課題</p>	<p>ダイバーシティ・健康増進・地域社会貢献・環境への配慮</p>
<p>グループ連携</p>	<p>セグメント間シナジー効果の最大化</p>

スペシャリティ医薬品の流通の取り組み

2021年3月

アルフレッサ(株)

患者宅特殊配送サービス「Home Care Delivery」の パイロット運用計画

受診～診察・処方



患者様

-診療・服薬指導
-宅配依頼

発注～納品



医療機関様

-調剤
-監査

宅配

ヤマトグループの
全国配送



引き渡し



患者様の個人宅

冷蔵温度帯(2~8℃)を数日間維持
可能な真空断熱材ボックスによる
定温配送を実現

アルフレッサの
特殊管理流通

alfresa

対象医薬品：血友病B治療薬イデルビオン
(CSLベーリング社製)
対象エリア：関東圏(東京、神奈川、埼玉、
千葉、群馬、栃木、茨城)

再生医療等製品の流通への取り組み

2021年1月

アルフレッサ(株)

「超低温保管・輸送設備」の全国展開

- ✓ 既存の物流センター3か所に専用スペースを設置
- ✓ 再生医療等製品の全国ネットワークを構築

■ 超低温保管・輸送環境構築

マイナス150℃の液体窒素を用いた貯蔵タンクおよび
マイナス80℃対応の超低温フリーザー等を導入

■ 殿町、神戸で培った経験・ノウハウを導入



**今後、他の物流センターにも設置予定
(2021年度内に合計9か所設置予定)**

特殊医薬品への取り組み

2020年11月、2021年2月

アルフレッサ(株)

個別化医療支援プラットフォーム「NOVUMN」の取り組み

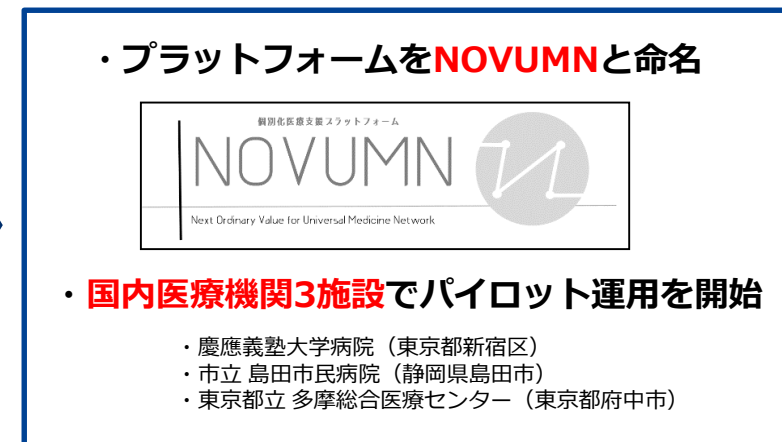
2020年2月13日

特殊医薬品の新たな流通管理プラットフォームの
実証実験開始



2020年11月19日

個別化医療支援プラットフォーム「NOVUMN」の
パイロット運用開始



2021年2月22日

個別化医療支援プラットフォーム「NOVUMN」の協議会設立（参画企業22社）

アルフレッサグループ（医療用医薬品等卸売6社）の他、他の企業グループも参加

新領域（PRO*）への取り組み

2021年3月

アルフレッサ(株)

スマートフォンアプリを使った頭痛管理プログラムを共同開発

(株)インテグリティ・ヘルスケアの疾患管理システム「YaDoc」によるサービスイメージ



◆担当医師とデータを共有

◆患者側のアプリ利用は無料
※診療費等は別途

*PRO : Patient Reported Outcome (患者報告アウトカム)

〔(株)インテグリティ・ヘルスケア概要〕2020年5月資本提携

本店所在地：東京都中央区日本橋蛸殻町1-27-5 YAMATO B.L.D.
代表取締役社長：園田 愛
事業内容：テクノロジーを活用した疾患管理システムの提供

新領域への取り組み

2021年5月

アルフレッサ(株)

ドーナッツロボティクス(株)との資本業務提携

ロボット技術を活用して医療業界の問題解決を目指す



C-FACE

smart mask

スマホにつながるスマートマスク
 > 8カ国語対応



smart robot
cinnamon

機能拡張型スマートロボット（会話ロボット）
 > 遠隔でもコミュニケーションができる
 > 防犯カメラや顔認証などの機能を備える

- ◆ 同社製品を販売
- ◆ アルフレッサ(株)のソフトウェアやシステムと連携
- ◆ 医療分野向けのハードウェアおよびソフトウェアの共同開発

〔ドーナッツロボティクス(株)概要〕

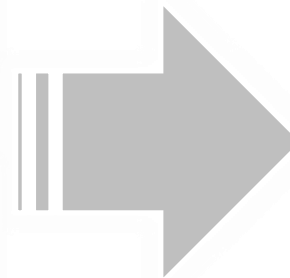
本店所在地：東京都港区虎ノ門一丁目17番1号 虎ノ門ヒルズビジネスタワー15階
 代表取締役：小野 泰助
 事業内容：ロボット、スマートマスクの開発、販売

セルフメディケーション卸売事業の経営統合

2020年9月

アルフレッサヘルスケア(株)

アルフレッサヘルスケア(株)が(株)茂木薬品商會を吸収合併



2021年4月 統合



※アルフレッサヘルスケア(株)完全子会社

経営資源の有効活用と営業基盤の強化

長期収載品の承継

2021年2月

アルフレッサ ファーマ(株)

第一三共(株)より長期収載品11製品19品目の製造販売承認等を譲受

承継時期：2021年12月～

No.	製品名	剤形	薬効分類
1	エースコール	錠剤	高血圧症用剤
2	エボザック	カプセル剤	口腔乾燥症状改善剤
3	オビソート	注射剤	日本薬局方 注射用アセチルコリン塩化物
4	ズファジラン	錠剤剤、注射剤	脳・抹消血行動態改善剤、子宮鎮痙剤
5	スロンノン	注射剤	抗トロンビン剤
6	トポテシン	注射剤	抗悪性腫瘍剤
7	ナロキソン塩酸塩	注射剤	麻薬拮抗剤
8	ニドラン	注射剤	抗悪性腫瘍薬
9	バナン	錠剤、粉末剤	抗生物質製剤
10	フジジンレオ	軟膏剤	抗生物質製剤
11	メレックス	錠剤、粉末剤	抗不安剤

小野薬品工業(株)よりキネダック錠 50mgの製造販売承認を承継

製剤名	剤形	効能効果
キネダック錠50mg	フィルムコーティング錠	糖尿病性末梢神経障害に伴う自覚症状、振動覚異常、心拍変動異常の改善

新型コロナウイルス抗原迅速検査キット

2021年3月

アルフレッサ ファーマ(株)

新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)抗原迅速検査キット アルソニック® COVID-19 Agの国内製造販売承認取得



◇主な特徴

- ✓ 判定時間5分*
- ✓ 他の疾病の判定に採取検体を共用可能**
(インフルエンザ、RSウイルス、アデノウイルス)

*試料滴下後の時間

**鼻咽頭拭い液の場合

医療関連事業の経営統合

2021年1月

アポクリート(株)

完全子会社間の合併契約締結と存続会社の商号変更

2021年4月、アポクリート(株)発足（調剤薬局子会社3社を統合）



(1)商号	アポクリート株式会社
(2)事業内容	調剤薬局運営等
(3)本店所在地	東京都豊島区東池袋四丁目5番2号
(4)資本金	4億3百万円
(5)決算期	3月31日

調剤薬局事業の強化と効率化

サステナビリティ経営 ～ESGに関する取り組み～

■ ダイバーシティ

アルフレッサグループ
ダイバーシティ方針策定（2020年）

アルフレッサグループは、
多様な人財を積極的に受け入れ、
多様な働き方を選択できる環境を整え、
多様な才能を大切にします。
共に働くすべての人が、
いきいきと活躍し能力を最大限発揮でき、
挑戦し続ける企業文化を醸成します。

「えるぼし」認定取得



✓ アルフレッサ ファーマ(株)

■ 健康増進

健康経営優良法人認定取得



2021
健康経営優良法人
Health and productivity



2021
健康経営優良法人
Health and productivity

<大規模法人部門>

- ✓ アルフレッサ(株) (2年連続)
- ✓ アルフレッサ メディカルサービス(株)

<中小規模法人部門>

- ✓ アルフレッサ ファインケミカル(株)

■ 環境



S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数
(2021年3月22日時点)

2022年3月期 業績予想



会計方針・表示方法の変更(2022年3月期)

1. 収益認識に関する会計基準(企業会計基準第29号 2020年3月31日)

収益認識に関する会計基準の適用指針(企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日)

連結合計	2021年3月期 まで	2022年3月期 以降	2022年3月期の影響額(億円)		
			売上高	売上原価	売上総利益
①売上計上 基準	出荷時	収益認識基準			
②代理人取引	総額	純額			
③返品調整 引当金	返品見込額の 粗利益を売上総利益 から間接控除	返品見込額を 売上高/売上原価 から直接控除	△173	△173	+0
④期間配分 /収益繰延	一括計上	期間配分			
連結合計					

2. 一部営業外収益(受取情報料等)を売上高へ表示変更

連結合計	表示区分		2022年3月期の影響額(億円)			
	変更前	変更後	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益
受取情報料等	営業外収益	売上高	+67	+67	+67	±0

連結業績予想

百万円、% カッコ内は変更前 の数値*	2021年3月期*		2022年3月期予想*		対前年度	
	金額	売上比	金額	売上比	額	率
売上高	2,609,161 (2,603,169)	—	2,505,000	—	△104,161	96.0
売上総利益	181,528 (175,536)	6.96 (6.74)	187,500	7.49	5,971	103.3
販管費	154,864	5.94	159,200	6.36	4,335	102.8
営業利益	26,664 (20,672)	1.02 (0.79)	28,300	1.13	1,635	106.1
経常利益	31,918	1.22	31,700	1.27	△218	99.3
親会社株主に帰属 する当期純利益	24,501	0.94	20,700	0.83	△3,801	84.5

*2021年3月期は表示方法の変更後の数値に組み替えて記載。カッコ内の数値は変更前の数値
 2022年3月期は会計方針の変更後、表示方法の変更後の数値を記載
 (参考)2022年3月期の影響額(収益認識基準影響)：売上高△173億円

医療用医薬品等卸売事業

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響、入札指名停止等の影響により医療用医薬品は減収の計画 (参考) 医療用医薬品：市場成長予測*△1.5%
- メディカル品は減収計画だが遺伝学的検査関連製品 (PCR検査機器等) 等が収益に貢献

百万円、% カッコ内は変更前 の数値**	2021年3月期**		2022年3月期予想**		対前年度	
	金額	売上比	金額	売上比	額	率
売上高	2,296,491 (2,290,624)	—	2,209,000	—	△87,491	96.2
売上総利益	133,091 (127,224)	5.80 (5.55)	137,400	6.22	4,308	103.2
販管費	108,915	4.74	112,500	5.09	3,584	103.3
営業利益	24,175 (18,308)	1.05 (0.80)	24,900	1.13	724	103.0

*クレコンリサーチ&コンサルティング

**2021年3月期は表示方法の変更後の数値に組み替えて記載。カッコ内の数値は変更前の数値
2022年3月期は会計方針の変更後、表示方法の変更後の数値を記載
(参考)2022年3月期の影響額(収益認識基準影響)：売上高△172億円

セルフメディケーション卸売事業

- 新型コロナウイルス感染症関連製品の反動減等により減収減益の計画
- 利益管理の徹底と専売メーカー・専売商品の拡充等を継続

百万円、% カッコ内は変更前 の数値*	2021年3月期*		2022年3月期予想*		対前年度	
	金額	売上比	金額	売上比	額	率
売上高	261,747 (261,624)	—	241,000	—	△20,747	92.1
売上総利益	26,009 (25,886)	9.94 (9.89)	24,000	9.96	△2,009	92.3
販管費	23,485	8.97	22,200	9.21	△1,285	94.5
営業利益	2,524 (2,401)	0.96 (0.92)	1,800	0.75	△724	71.3

*2021年3月期は表示方法の変更後の数値に組み替えて記載。カッコ内の数値は変更前の数値
 2022年3月期は会計方針の変更後、表示方法の変更後の数値を記載
 (参考)2022年3月期の影響額(収益認識基準影響)：売上高△1億円

医薬品等製造事業

- 自社製品ラインナップ増や承継品の拡充等により増収を計画
- 増収効果に加え、利益管理の徹底等により増益を計画

(百万円、%)	2021年3月期		2022年3月期予想		対前年度	
	金額	売上比	金額	売上比	額	率
売上高	42,595	—	48,500	—	5,904	113.9
売上総利益	10,282	24.14	13,200	27.22	2,917	128.4
販管費	10,427	24.48	11,700	24.12	1,272	112.2
営業利益	△144	△0.34	1,500	3.09	1,644	—

医療関連事業

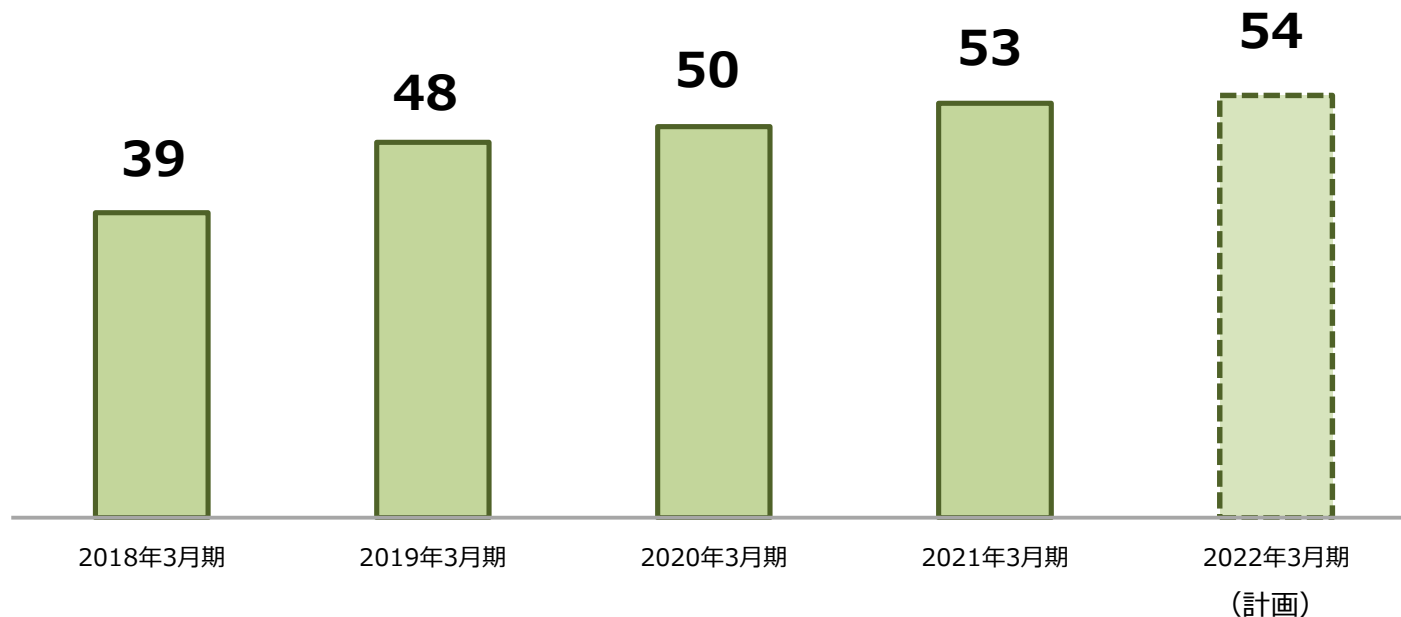
- 経営統合により店舗数増加で増収を計画
旧・(株)中日ファーマシー連結化により14店舗増
- 増収および経営統合による効率化により増益を計画

(百万円、%)	2021年3月期		2022年3月期予想		対前年度	
	金額	売上比	金額	売上比	額	率
売上高	33,300	—	35,200	—	1,899	105.7
売上総利益	12,081	36.28	12,900	36.65	818	106.8
販管費	12,450	37.39	12,800	36.36	349	102.8
営業利益	△369	△1.11	100	0.28	469	—

株主還元

- ▶ **18期連続増配**を継続
- ▶ 19-21中期経営計画では株主還元方針を純資産配当率（D O E）2.3%以上とし安定した配当を継続

1株当たり配当金(円)の推移



アルフレッサホールディングス(株)の新体制

(2021年6月25日予定)

役 職	氏 名
取締役会長	久保 泰三
代表取締役社長	荒川 隆治
取締役 副社長 社長補佐 DX推進担当	泉 康樹
取締役専務執行役員 財務企画・コーポレートコミュニケーション・コンプライアンス担当	岸田 誠一
取締役	勝木 尚
取締役	島田 浩一
取締役	福神 雄介

役 職	氏 名
取締役 (社外取締役)	八剣 洋一郎
取締役 (社外取締役)	原 大
取締役 (社外取締役)	木下 学
取締役 (社外取締役)	竹内 淑恵
常勤監査役	桑山 賢治
常勤監査役	尾崎 正和
監査役 (社外監査役)	神垣 清水
監査役 (社外監査役)	加藤 善孝
監査役 (社外監査役)	伊東 卓
常務執行役員 総務・グループ企画・人事企画担当	大橋 茂樹
常務執行役員 事業開発・海外事業担当	紫藤 泰弘

「将来見通し」に関する注意事項

当社が開示する情報の中には、当社の将来の見通しに関する事項が含まれている場合がありますが、歴史的事実以外のものは一定の前提で作成された見通しや戦略であり、こうした事項には一定のリスクや不確実性などが含まれており、様々な環境変化等により、実際の結果がこれら見通しと必ずしも一致するものではないことを予めご了承ください。

新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新する義務も方針も有しておりません。

The logo for 'alfresa' features the word in a blue, lowercase, sans-serif font. A small green leaf icon is positioned above the letter 'f'.

アルフレッサ ホールディングス株式会社

問い合わせ先

アルフレッサ ホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部

TEL: 03-5219-5102 FAX: 03-5219-5103

E-mail: ir@alfresa.com